

<美術館は宝の宝庫>

コロナが落ち着いてきたことで、美術館の出入りも制限が少なくなってきました。

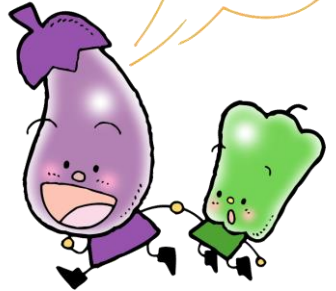
保育室すまいるにとって美術館は遊びの宝庫！！

楽しいことがたくさんあるのに、今まで出向けなかったことがとても残念におもっていたので、今年は思う存分美術館を使って活動したいと思っています。

手始めに、創作室で木っ端を使つての製作をしました。(本当は粘土活動がしたかったのですが、コロナの拡大防止の消毒ができないために粘土の使用ができず、残念でした・・・コロナの制限はやはりありました) 木っ端をみてイメージをして絵の具を塗っていく、絵具を塗りながらイメージをわかせる・・・その両方のやり方を子どもたちは自然と活用して楽しんでいました。

目で見てイメージを沸かせる・手で触って感触を楽しむ、側で木工をしている方のやすりの音に耳を傾ける、木の香り絵具のにおいを確認する・・・今回の創作室の活動だけでも視覚・触覚・聴覚・臭覚をフルに作動させて活動している子どもたち、鏡の前では新しい遊び発見、いろいろなポーズをとりあって楽しんでいました。味覚はもちろん、おやつの時に作動させていました。外で食べるおにぎりはうまい！ありもちょうちょもおにぎりめがけてやってきて、歓声を挙げていた子どもたちでした。

遊びには、五感が総動員されて生まれる
情報と感情と意志がミックスされています。



<お知らせ>

次の美術館での活動では、美術館探検に挑みました。

草が生えている道なき道があるいたり、ちょっと淀んでいる池でおよいでいるこいやあめんぼう、イトトンボ、ちょうちょを追ってみたり、流れる川をわたってみたり・・・友だちが遊んでいる様子を見て、情報を取り入れ、自分の情報として活用している子どもたちです。みんなと一緒にやりたい意欲が挑戦する力に代わります。靴下だって脱げるぞー！

観察力抜群、風車が少し風が吹いてきたら動き出したのです。すかさず、風車の周りを駆け巡り、回る風車と戯れようとしていました。

